



## 国産針葉樹の大径材で内装の木質化を提案する「表層圧密 Gywood シリーズ」 林野庁長官賞とみらいのたね賞をダブル受賞 「ウッドデザイン賞 2018」 「Japan Home & Building Show 2018」

### ◆ ニュースポイント ◆

ナイス株式会社（杉田 理之社長、本社：神奈川県横浜市）が販売する「表層圧密 Gywood（ギユッド）シリーズ」が、ウッドデザイン賞 2018（主催：ウッドデザイン賞運営事務局）において「林野庁長官賞（ライフスタイルデザイン部門 建材・部材分野）」を受賞するとともに、Japan Home & Building Show 2018（主催：一般社団法人日本能率協会）において「みらいのたね賞」を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

「表層圧密 Gywood シリーズ」は、スギやヒノキ、アカマツなど、軟らかいとされる針葉樹の無垢材の表層部を特に高密度化することで、素材としての硬さや強度を向上させ、更に一般的な無垢材と比べて形状安定性を高めることに成功した「無垢の新素材」です。針葉樹の美しい木目の意匠や、質感、風合いを保ちつつ、表面をほどよい硬さにしています。針葉樹の弱点であった傷つきやすさを克服しつつも、内部は針葉樹の軟らかさをそのままとし、キズに強くて、軽い素材となっています。

木材業界をはじめとした多種多様な企業との連携により、大きな板としての無垢材の付加価値を高める加工、商品化が可能で、日本の森林の課題の一つである針葉樹を中心とした大径材の用途開発に大きく寄与する点や、森林資源の循環に貢献する点が、両賞において高く評価されました。

### 進化した「無垢材」

日本の人工林のほとんどは、スギをはじめとした針葉樹で、そのうち約 35%は主伐期となる 11 齢級（51～55 年生）を迎え、「高齢化」の状況にあります。住宅用の建築用材としては、大きくて使いづらい高齢級の「大径材」の需要は減少傾向にあり、その利活用が課題となっています。

針葉樹の無垢材は、軟らかくて温かみのある感触に加え、断熱性や調湿性に優れており、室内の温度変化を緩やかにし、住まいの快適性を高めてくれるという、優れた性質を有しています。一方で、日本の生活様式が戦後に大きく様変わりしたことで、床や机にはキズがつきにくく、表面が硬い木材が求められ、軟らかく傷つきやすい針葉樹の用途は限定されていきました。

「表層圧密 Gywood シリーズ」は、針葉樹の無垢材の表層部を特に高密度化することで、素材としての硬さや強度を向上させ、更に一般的な無垢材と比べて形状安定性を高めることに成功した、大径材の用途開発に大きく寄与する素材です。スギやヒノキ、アカマツなど、全国各地の地域ブランド材や森林認証材の活用へ対応でき、学校や駅舎をはじめとした公共建築物へ積極的な活用が可能です。

表層圧密のイメージ



## 大径材を非住宅に活用し、森林資源循環に貢献

何十年もかけて育った木は、大径材のまま無垢材として、人の手に触れるところ、人が集まる場所に使うことで、その価値を多くの方々が感じられるようになります。「表層圧密 Gywood シリーズ」は、大径木らしい大きな無垢の板材によるインテリア、エクステリア、家具等に活用でき、地域のブランド材や森林認証材を用いて、公共建築物をはじめとした非住宅の木質化に寄与する素材です。

大切に育ててきた木が、それに見合った付加価値をもって、地域材として都心部や他県、また海外などで利用される仕組みをつくっていくことにより、各地の林業のモチベーションを高め、人や環境を育てていく原動力につなげてまいります。

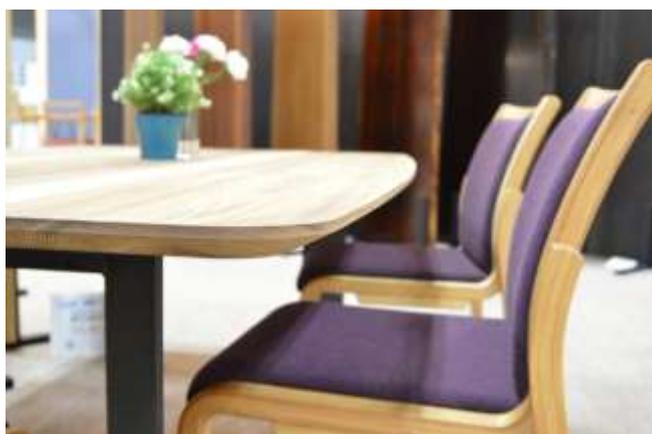
### 【製品活用例】



高い形状安定性により幅広・長尺・薄型としたテーブル



家具や学童机、階段など多用途で活用



薄型でエッジを効かせたテーブル



表面がほどよい硬さで、温かみを感じられるフローリング



製品名：表層圧密テクノロジー「Gywood®」  
販売：ナイス(株)資材事業本部 木材事業部・国産材振興室  
お問い合わせ先：TEL:045-503-2015  
Mail:kokusanzai@nice.co.jp  
ホームページ：<https://gywood-muku.jp/>

<ご参考>

### 「ウッドデザイン賞 2018」

(主催：ウッドデザイン賞運営事務局)



JAPAN WOOD DESIGN  
AWARD 2018

ウッドデザイン賞は、「木」に関するあらゆるモノ・コトを対象に、暮らしを豊かにする、人を健やかにする、社会を豊かにするという3つの視点から、デザイン性が優れた製品や取り組みなどを消費者目線で表彰する顕彰制度です。林野庁の後援のもと、木のある豊かな暮らしが普及・発展し、木材利用の促進が図られることを目的としています。

表彰部門は「ライフスタイル部門」「ハートフルデザイン部門」「ソーシャルデザイン部門」の3つが設けられ、応募対象は建築・空間分野と建材・部材分野、木製品分野、コミュニケーション分野、技術・研究分野に分かれています。4回目となる今年は393点の応募作品の中から189点がウッドデザイン賞を受賞、11月20日に農林水産大臣賞1点と林野庁長官賞9点、審査委員長賞15点の計25点が最終選出されました。

12月6～8日には、東京ビッグサイトで開催される「エコプロ2018」内で、表彰式と受賞作品の展示が行われます。(ウッドデザイン賞ホームページ：<https://www.wooddesign.jp/>)

名称：エコプロ2018 SDGs時代の環境と社会、そして未来へ  
会期：2018年12月6日(木)～8日(土) 10:00～17:00  
会場：東京ビッグサイト 東ホール  
主催：(一社)産業環境管理協会、日本経済新聞社

エコプロ2018

### 「みらいのたね賞」

(主催：一般社団法人日本能率協会)

「みらいのたね賞」は、(一社)HEAD研究会が毎年度選定し、優れた建築を生みだすことに貢献しうる、優れた建材・製品に与える賞である「HEADベストセレクション賞」の流れを継承しつつ、昨年より新設された賞で、優れた建築を生みだすことに貢献しうる、優れた製品、未来への布石となる製品に与えられる賞です。建築家、ハウスメーカーをはじめ、さまざまな立場で建築の実務にかかわる選考委員が、一般公募、委員推薦により集められた候補製品のなかから毎年約10製品を選定します。



みらいのたね  
Seeds for the Future Award

2回目となる今回は、建築家の竹内昌義氏をゲスト審査員に迎え、「Japan Home & Building Show 2018」の約450社の出展製品の中から、ゲスト建築家の視点や思想をもとに受賞製品10点が決定されました。11月21日14:00～16:00には、同展示会内で表彰式が行われます。

名称：Japan Home & Building Show 2018 (ジャパンホームアンドビルディングショー2018)  
会期：2018年11月20日(火)～22日(木) 10:00～17:00  
会場：東京ビッグサイト 東ホール  
主催：(一社)日本能率協会

この件に関するお問い合わせ先

ナイス株式会社 広報室 森・内野 TEL：(045) 501-5048

〒230-8571 神奈川県横浜区鶴見区鶴見中央4-33-1 ナイスビル8F